

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アジュール東天満	事業所番号	2714100910
住所	大阪市北区東天満1丁目10-12 IL・エスト不動産ビル5階	管理者名	木村 豊子
電話番号	06-6242-8333	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p>活動場所：学校法人 エール学園 実施日程：月曜日・火曜日・木曜日・金曜日 実施した生産活動・施設外就労の概要</p> <ul style="list-style-type: none">①専門学校の指定されている館のフロアに付属する清掃業務②班に分かれて各階のトイレ清掃・ゴミ出し・廊下や階段の清掃 <p>利用者数：2名</p>	<p><活動の様子></p>     
<p><目的></p> <p><地域連携活動のねらい></p> <p>地域との繋がりを持つことで利用者の能力向上・意欲向上 地域に貢献できるという意識付けをさせる。</p> <p><地域にとってのメリット></p> <p>地域の方たちには利用者である障がい者の掃除する姿を 見てもらう事により、障がい者への理解を深めてもらう。</p> <p><対象者にとってのメリット></p> <p>清掃業務での清掃スキルのアップやコミュニケーションの能力の習得 仕事へのやりがいや自信を持って取り組める。</p>	
<p><成果></p> <p><実施した結果></p> <p>清掃業務の中で役割分担ができ、 個々で判断する能力を身につける事ができた。 仕事に対する責任感、チームワークができ、作業能力の向上に繋がった。</p> <p><得られた成果></p> <p>清掃業務を通して、連携先企業や学校側からも 高評価を得られる事が出来た。 事業所での作業でも率先して行動する事が出来るようになった。</p> <p><課題点></p> <p>利用者同士で上下関係が出来てしまい、 心身状態が就労活動に影響があった。 利用者の清掃スキルをアップさせられるような指導が必要である。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p><連携した結果に対する意見または評価></p> <p>利用者の方の清掃業務は丁寧で、清掃スタッフも人手が足りないで助かっている。 連携先企業と事業所が連携する中で、障がい者への理解や共存していく仕組みが必要不可欠となる。</p> <p><今後の連携強化に向けた課題></p> <p>コロナ禍において、感染予防対策の整備 イレギュラーな事が起きた時の対応能力を身につける。</p>			
連携先企業名	株式会社 メンテックス	担当者名	宮原 大祐

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～ IV）

(I) 労働時間

前年度（令和4年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	18,361	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	208	人	利用者の1日の平均労働時間数	88	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-----	---	----------------	----	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	3,345,507	円	利用者に支払った賞金総額	20,685,619	円	収支	▲ 17,340,112	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	3,652,744	円	利用者に支払った賞金総額	19,677,656	円	収支	▲ 16,024,912	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

(III) 多様な働き方

前年度（令和4年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 1 名
 ※ 取得を進めた免許等： 西洋医学 望診法

制度の活用内容： 会社は利用者に対し業務に必要な、知識・技能を高め資質の向上を図るため免許及び資格取得の促進、検定受験の動奨を行なう。

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数 0 名
 ◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している
 ◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している
 ※ 登用した日： ●年 ●月 ●日
 勤務形態： ○○○
 就業時間： ●時●分～●時●分
 職務内容： ○○○

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数 0 名
 ※ 実施した期間： ●月●日～●月●日
 就業時間（在宅勤務）： ●時●分～●時●分
 職務内容： ○○○

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数 0 名
 ※ 実施した期間： ●月●日～●月●日
 就業時間（コアタイム）： ●時●分～●時●分
 職務内容： ○○○

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数 0 名
 ※ 実施した期間： ●月●日～●月●日
 就業時間（短時間）： ●時●分～●時●分
 職務内容： ○○○

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数 0 名
 ※ 実施した期間： ●月●日～●月●日
 就業時間（早出の場合）： ●時●分～●時●分
 就業時間（遅出の場合）： ●時●分～●時●分
 職務内容： ○○○

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数 0 名
 ◎ 計画的付与制度を活用した人数 ● 名
 ※ 取得した制度： 有給休暇の時間単位取得
 計画的付与制度
 取得した期間： ●月●日～●月●日
 取得日数・時間 ●日 ●時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数 0 名
 ※ 取得した内容： ○○○
 取得した期間： ●月●日～●月●日
 就業時間： ●時●分～●時●分
 職務内容： ○○○

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（●年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している
 ◎ 研修実施回数 外部 7回 / 内部 1回
 対象職員数 6 人
 うち研修受講者数 2 人
 ※ 研修名 高次脳機能障がい地域養成研修
 研修講師 大阪府障がい自立支援センター
 実施日・受講者数 9月 14日 1人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 ● 回
 ※ 研修、学会等名 ○○○
 実施日 ●月 ●日
 ※ 学会誌等名 ○○○
 掲載日 ●月 ●日
 発表テーマ ○○○

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している
 ◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている
 ※ 先進的事業者名 BARI BARA QUEST (B型)
 実施日 / 参加者数 11月 30日 1人
 ※ 他の事業所名 たまがわ支援高等学校
 実施日 / 参加者数 6月 6.7.8日 1人
 9月 15.16日 1人

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 1 回
 ※ 商談会等名 ジョディーホールディングス
 主催者名 就労継続支援A型つきみ宮松様
 日時 11月 28日
 内容 タオル加工作業について

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している
 ◎ 当該人事評価制度を周知している
 人事評価制度の制定日 4年 9月 1日
 人事評価制度の対象職員数 25 名
 うち昇給・昇格を行った者 25 名
 当該人事評価制度の周知方法 各自面談にて周知

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している
 ◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している
 ※ 配置期間 ●月●日～●月●日
 就業時間
 職務内容 ○○○

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている
 ※ 評価を受けた日 ●月 ●日
 第三者評価機関 ○○○

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている
 ※ 認証を受けた日 ●月 ●日
 規格等の内容 ○○○

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等。